

令和3年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

養護に関する科目

受験番号		氏名	
------	--	----	--

— 注 意 事 項 —

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから3ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 健康診断について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 健康診断において、保健調査を行うことの意義を書きなさい。

(2) 小・中学校の結核検診時の問診6項目のうち、「本人の結核罹患歴」「本人の予防投薬歴」「自覚症状」以外に3つ書きなさい。

(3) A小学校では聴力検査の前に養護教諭がホワイトボードを用いて、検査の「目的」と「受け方」について5分程度の事前指導を行う。ホワイトボードに示す「目的」と「受け方」の要点を書きなさい。

(4) 学級担任から養護教諭に以下のような依頼があった。養護教諭として、児童Bの保護者に対し、受診の必要性について、どのように説明するか書きなさい。

児童Bの保護者に、耳垢栓塞受診の勧告を行ったが、「たかが耳あか。家で耳のそうじをしたから大丈夫。受診はしない。」と言っている。来月から水泳指導が始まるので心配だ。養護教諭から保護者に説明してほしい。

(5) 臨時の健康診断は、どのような場合に行うか。学校保健安全法施行規則第10条に示されている5つのうち、「卒業のとき」以外の4つを書きなさい。

2 学校環境衛生について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 学校保健安全法第6条に定められた学校環境衛生基準の教室等の環境に係る事項を5つ書きなさい。

(2) 飲料水について、次の①、②の問いに答えなさい。

① 日常点検について、a、bに基準を書きなさい。

検査項目	基準
飲料水の水質	(ア) 給水栓水については、(a) こと。 ただし、水源が病原生物によって著しく汚染されるおそれのある場合には、 ～以下省略～
	(イ) 給水栓水については、(b) こと。
	(ウ) 冷水器等飲料水を貯留する給水器具から供給されている水についても、 給水栓水と同様に管理されていること。

② 貯水槽を通して給水している学校において、夏季休業等で長期間、水道を使用しなかった場合、飲料水の水質にどのような影響を及ぼすか。また、その対応について書きなさい。

- 3 保健教育について、『生きる力』を育む小学校保健教育の手引（平成31年3月）文部科学省」を踏まえ、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。
- (1) 学校における保健教育を効果的に進める上で、「教育課程の編成及び実施における教職員の共通理解」の他に留意すべき点を2つ書きなさい。

- (2) 保健の指導内容の体系化として、①～⑤に適する語句を書きなさい。

小学校	(①) 生活における健康・安全に関する基礎的な内容を (②) に理解できるようにする。
中学校	個人生活における健康・安全に関する内容を (③) に理解できるようにする。
高等学校	個人及び (④) 生活における健康・安全に関する内容を (⑤) に理解できるようにする。

- (3) 疾病予防の考え方として、一次予防、二次予防、三次予防の内容について具体的に書きなさい。

- 4 保健室経営について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 保健室の機能について、「救急処置（休養を含む）」以外に5つ書きなさい。

- (2) 保健室経営計画の必要性を4つ書きなさい。

- (3) C小学校の児童の主な健康課題は以下のようなものである。保健室経営計画の重点目標を①、②に、具体的な方策をア～エに書きなさい。

児童の主な健康課題	
<p>○保健室来室者は、一日平均20人でその65%がけがによるものである。</p> <p>○学校管理下のけがで医療機関を受診した児童は、前年度より10%増加している。</p> <p>○心疾患、腎疾患、食物アレルギー等により学校における配慮や管理を必要とする児童が27名と多い。</p>	



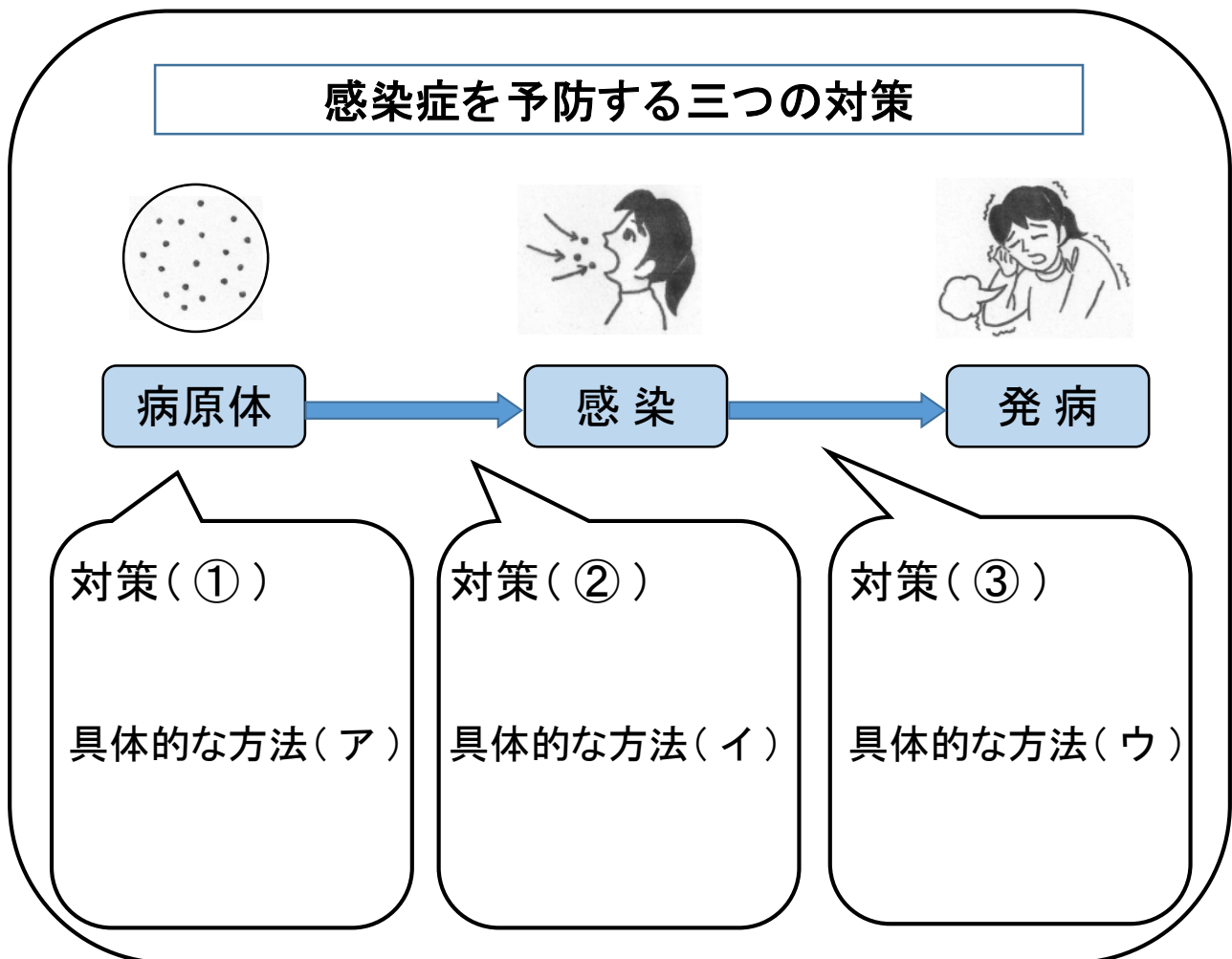
重点目標	目標達成のための具体的な方策
①	ア イ
②	ウ エ

- 5 学校において予防すべき感染症について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。
- (1) 次の文は学校保健安全法の一部である。下線部①及び②はそれぞれどのような状況か、麻しんを例に具体的に書きなさい。

(出席停止)

第十九条 校長は、感染症にかかっており、①かかっている疑いがあり、又は②かかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。

- (2) D中学校の1学年主任から養護教諭に、学年集会で感染症予防について説明してほしいと依頼があった。下の説明用の資料を完成させるために、対策を①～③に、具体的な方法をア～ウに書きなさい。



養護解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

(3年)

1

(1)			
(2)			
(3)	目的		
	受け方 (要点)		
(4)			
(5)			

2

(1)			
(2)	①	a	
		b	
	②	影響	
		対応	

3

(1)			
(2)	①	②	③
	④	⑤	
(3)	一次予防		
	二次予防		
	三次予防		

養護解答用紙	2枚中の2	受験 番号		氏 名	
--------	-------	----------	--	--------	--

(3年)

4

(1)			
(2)			
(3)	①		
	②		
	ア		
	イ		
	ウ		
	エ		

5

(1)	①		
	②		
(2)	①		
	②		
	③		
	ア		
	イ		
	ウ		

以下はあくまでも解答の一例です。

養護解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

(3年)

1

(1)	健康診断を的確かつ円滑に実施することができる。など			(3点)
(2)	家族等の結核罹患歴	結核高まん延国での居住歴	BCG接種歴 (各2点×3=6)	
(3)	目的	難聴の有無、その程度を検査する (2点)		
	受け方	<ul style="list-style-type: none"> 聞こえのよい耳から始めるが、どちらかわからない時は右耳から始める。 受信器(レシーバー)を耳に密着する。 音が聞こえている間中、応答ボタンを押すか、手を上げて合図をする。など (4点)		
(4)	耳垢栓塞は、鼓膜が見えない程度、耳あかがたまった状態で中耳炎などの病気が隠れていることがある。家庭で除去すると悪化する恐れがある。耳垢栓塞のままプールに入ると耳あかがふやけてさらに聞こえが悪くなったり、外耳炎を起こすことがあるから、受診の必要がある。など			(6点)
(5)	・感染症又は食中毒の発生したとき			
	・風水害等により感染症の発生のおそれのあるとき			
	・夏季における休業日の直前又は直後			
	・結核、寄生虫病その他の疾病の有無について検査を行う必要のあるとき (各3点×4=12)			

2

(1)	換気		採光		照明	
	保温		清潔保持 (順不同)		(各2点×5=10)	
(2)	①	a	遊離残留塩素が0.1mg/L以上保持されている(こと)			
		b	外観・臭気・味等に異常がない(こと) (各3点×2=6)			
	②	影響	遊離残留塩素の減少により、細菌の繁殖を抑制できなくなるおそれがある。			
		対応	多めに放水した後、遊離残留塩素の測定及び濁り、匂い、味を点検する。(各3点×2=6)			

3

(1)	・教科等横断的な視点に立った各教科等の関連を図った指導					
	・家庭、地域との連携 (各3点×2=6)					
(2)	①	身近な	②	実践的	③	科学的
	④	社会	⑤	総合的	(各2点×5=10)	
(3)	一次予防	適切な食事や運動不足の解消、禁煙、ストレスコントロールなど生活習慣づくりの取組、環境改善 など				
	二次予防	検診等による病気の早期発見と早期治療 など				
	三次予防	適切な治療により病気や障害の進行を防ぐ など (各3点×3=9)				

以下はあくまでも解答の一例です。

養護解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名
--------	-------	------	----

(3年)

4

(1)	健康診断	健康相談	保健指導
	発育測定	保健情報センター など	(各2点×5=10)
(2)	・学校教育目標や学校保健目標等に基づく保健室経営を計画的、組織的に進めることができる。		
	・健康課題を踏まえた保健室経営計画を立てることによって、健康課題を教職員等で共有できる。		
	・教職員や保護者等に周知することによって理解や協力が得られ、効果的な連携ができる。		
	・自己評価及び他者評価を行うことにより、課題が明確になり改善点を次年度に生かすことができる。 など (各4点×4=16)		
(3)	①	けがの防止に向けた指導の充実を図る。 など	
	②	児童の心身の健康問題を早期に発見し、配慮を必要とする児童への組織的な対応の充実を図る。 など (順不同)	
	ア	けがマップを作成し、けがの多い場所を知らせ啓発する。 など	
	イ	児童保健委員会で「けがの予防」をテーマに取り組み、集会等で発表できるように指導する。 など	
	ウ	配慮や管理が必要な児童に対し、学校生活管理指導表に基づいた対応を行う。 など	
	エ	配慮が必要な児童一覧を全職員に配布し、共通理解のもと、対応を徹底する。 など (順不同) (各3点×6=18)	

5

(1)	①	麻疹患者との接触後10～12日後に発熱、咳、鼻水等のカタル症状が出現した状況
	②	麻疹に対する免疫をもたない、あるいは免疫が不十分な状況 (各4点×2=8)
(2)	①	発生源をなくす
	②	感染経路を断つ
	③	体の抵抗力を高める
	ア	加熱して殺菌する、日光で消毒する、薬品を使って消毒する
	イ	石けんを使って手を洗う、部屋の換気をする、人混みをさける、マスクをする、外から帰ったらうがいをする
	ウ	適度な運動をする、規則正しく栄養のバランスのよい食事をとる、早寝早起き十分な睡眠・休養をとる、気持ちを明るくもつ、予防接種を受ける など (各3点×6=18)